

教育長 年頭所感



教育長 小花 高子

オリンピック・パラリンピックへの期待

あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

今年はいよいよ、東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。葛飾区では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が、区立小・中学校、保田しおさい学校、幼稚園の子どもたちにとつて、一生の財産として、心に残る大会となるよう、東京都から提供を受けるチケットを使って競技を観戦するための準備を進めています。子どもたちが会場で競技を目の当たりにすることで、スポーツのすばらしさを直に感じるとともに、世界の国々への関心を高め、多様であることを尊重しあうことの重要性を認識する契機となることを期待しています。

学びの変化

また、今年、4月から小学校において新しい学習指導要領が全面実施され、子どもの学びが大きく変わる重要な年でもあります。

もありません。

グローバル化やスマートフォン等の普及、ビッグデータや人工知能(AI)の活用などによる技術革新が進む中、変化の激しい時代を見据え、学習指導要領が約10年ぶりに改訂されたもので、中学校においては令和3年度からの実施に向けて準備を進めます。

新しい学習指導要領の下で学ぶ内容

小学校の新しい学習指導要領では、外国語として、小学校3・4年生で「外国語活動」が、小学校5・6年生で教科としての「外国語」が導入されます。プログラミング教育も必修化されます。

プログラミング教育とは、コンピュータに意図した処理を行わせる体験等を通じて論理的思考力を育むためのもので、全ての学年で多様な教科・単元において取り入れられます。

どのように学ぶかの視点も重要に

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業を重要視しています。

全ての学校等で、見通しをもつて粘り強く取り組む力が身に付く授業、一つ一つの知識がつながり「わかった」「面白い」と思える授業、周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業を目指していきます。

子どもたちの生きる力を育むために

葛飾区教育委員会は、今後もICT環境の整備をはじめとする、教育環境の充実を進めます。

葛飾区立の各学校・園は、教育研究指定校・園による研究や研修など、より分かりやすい授業への改善に頑張っており取り組んでいます。

けれども、子どもたちを育むためには、家庭や地域の皆様の理解と協力が欠かせません。学校で学んだことを日常生活で活用したり、家庭や地域での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。どうかこれまで以上に、葛飾区の子どもたちが、地域の中で健やかに育つことができよう、皆様方のご協力をお願いいたします。

このほか、生涯にわたる区民の皆様の学習・文化・スポーツ活動への支援の充実や放課後子ども支援など教育委員会として取り組むべき課題は多くあります。

今年一年、葛飾区の教育の充実に、教育委員会一丸となって全力で取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

令和元年12月22日付けで、日高芳一氏が教育委員会委員に就任(再任)しました。

教育総務課 ☎(5654) 8449



教育委員会委員 大里 豊子



教育委員会委員 塚本 亨



教育委員会委員 齋藤 初夫



教育委員会委員 日高 芳一



教育長職務代理人 望月 京子